

## 雇用型の酪農経営について

奥 秋 吉 広 (酪農家 鹿追町北鹿追)

鹿追町で酪農業を営む奥秋氏は、研修滞在施設であり交流の拠点でもある同町の「ピュワモルトクラブハウス」の設立や運営に中心となって携わってきました。また、雇用の受入組織であるファーマーズスタッフ（浅野会長）の窓口でもあり、幅広く活躍されています。現在、同町にはたくさんの方が集まり農業に従事しています。今回は雇用という観点から講演をして頂きました。



### 1. ピュアハウス（女性専用の研修滞在施設）の取り組み

本日の現地見学会でみていただいたピュアモルトクラブハウスは平成10年にオープンしました。鹿追の町を活気づけていける若者をつくりだしたい、そういう自分たちの願いではじめた家です。一緒に建ててもらったピュアハウスという研修棟（男子禁制）では、町外・道外の研修生を毎年10名ほど受け入れています。研修期間の1年間は宿泊費用がかからず、必要なのは光熱費と食費だけです。農家に通う交通手段である自動車は農家から貸し与えてもらっています。

現在まで86名の研修生を受け入れてきました。そのうち町内に残られた方は25名、町内で結婚された方が8名、近郊町村に嫁がれた方が6名ほどおられます。現在もOG会があって、集まっては色々な活動をしています。

あそこにピュアモルトがある...、女の子がい

る...、つまり”町内の青年が集まる”ということなのです。



ピュアハウス（女性専用の研修滞在施設）

### 2. 町内の賃貸住宅施設

1年の研修が終わって今度は農場に就職するとなると、住む場所がまた必要になります。街の中心に6戸の新築住宅（農業体験宿泊施設）を用意しており、家賃は10,500円です。さらに旧自衛隊官舎を改装したものが42戸あります。町に滞在する際は、しばらくの間は農協と行政が面倒をみてくれます。住宅は常に確保して頂いております。

### 3. ファーマーズスタッフによる雇用確保の取り組み

雇用という形態の中で鹿追町の農業はここ10年くらい飛躍的に伸びました。これはJA鹿追町やレディスサービスカンパニー、酪農ヘルパーなどの活躍によるところが大きいのですが、規模拡大ともなう労働力への依存は非常に大きくなっています。圃場管理などはコントラクターにまかされてもらえらるとしても、牛の管理やお産・牛の移動や給餌など、機械化されてもやはり手間がかかる部分が増えているのが現状です。そこで、労



なる... お父さんは畑に行ったっきり帰って来ない... というのが現状だと思います。

”好きで貰った女房をボロボロにしてどうするの...?”

あと何年かで子供が手から離れるのに今度は親の介護がはじまる... おしゃれする時間も無い... 化粧する暇も無い... 子供の学校行事にも行く暇が無い... というのが酪農家の奥さんの実態だと思います。立派な経営をして何百頭も搾乳している経営もたくさんありますが、皆ぎゅうぎゅう詰めの生活だと思います。それで本当に幸せなのか?、それが自分の人生なのか?、ということをもまず考えた方が良くと思います。夜8時9時になっても電気が点いている牛舎があります。奥さんも一緒に働いていると思います。それから作業を上がって旦那と晩御飯食べて... 洗濯物片付けて... 風呂入って寝る... といったら寝るのは何時になるのか?。そんなことをして酪農やるなら辞めたほうが良い... というのが僕の持論なのです。

そういった苦勞をある程度までやわらげたい、そのための雇用ではないかと思っています。

確かに(最低)15万円という給料は農家にとって安い金額ではないと思いますが、本当は15万円以上の値があるのです。心にゆとりをもって牛を見る時間があれば、発情もしたり、お産の事故も減る、共済の掛け金も減る、そういった中で生み出して行ける金額なのです。

## 5. ファームサービス(プチヘルパー)の取り組み

メンバーに200頭くらい搾乳している仲間がいるのですが、200頭の搾乳をヘルパーに完全に任せるのはかなり困難です。1日休むための引き継ぎに3時間も4時間もかかってしまいます。そこで、同級生や近所の人を含めて6人で”ファームサービス”というプチヘルパーを平成16年に立ち上げ

ました。

一般のヘルパーと違い、よほど何か事情がない限り、引継ぎ無しで出かけることができ、いつも来てくれる人なので安心感があります。将来的には一般のヘルパーを一切利用せずに月2回夫婦で休むことができ、従業員を長期旅行に行かせることも可能となります。

## 6. ファーマーズスタッフを運用するために法的に必要なこと

私はファーマーズスタッフとファームサービスの窓口をするために、職業紹介責任者講習を受講しています。職業安定法第36条に基づく委託募集の届出を労働局に受理していただかなければ、ファーマーズスタッフとファームサービスという名前を使って募集広告を出すことはできません。個人の牧場なら広告を出せるのですが、ファームサービスとして取り組むには、きちっと講習を受けることが必要となります。